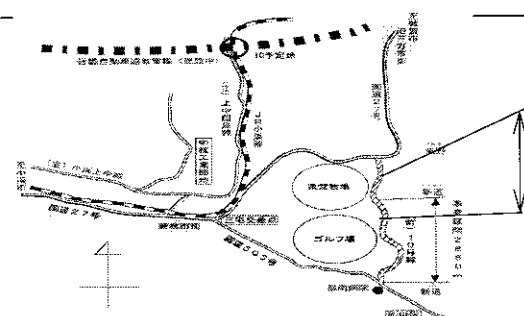


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：近畿地方整備局 地域道路課
担当課長名： 横谷 利昭

事業名	1級町道10号線		事業区分	地方道	事業主体	福井県
起終点	自：福井県若狭町末野 至：福井県若狭町新道				延長	2.9 km
事業概要						
<p>1級町道10号線は、一般国道27号と一般国道303号をバイパス的に直結するとともに、熊川宿（重要伝統的建造物保存地区）あるいは若狭町の観光ゾーンである三方五湖等を有機的に結ぶことにより地域の活性化に資する路線である。また、平成17年3月に旧三方町と旧上中町が合併し、若狭町となったため、旧町間を結ぶ当路線の役割はなお一層大きなものとなっている。しかし、現道は幅員狭小で急勾配、未舗装区間が大部分を占めているため早急に道路整備を行う必要がある。</p>						
H9年度事業化		H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H9年度用地着手		H10年度工事着手
全体事業費	約35億円		事業進捗率	74%	供用済延長	0.4 km
計画交通量	1,700台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (事業)/ (事業全体) 8.6/39億円		総便益 (事業)/ (事業全体) 62/62億円		基準年 平成18年
	(事業)	事業費：8.1/39億円 維持管理費：0.52/0.52億円		走行時間短縮便益：55/55億円 走行費用減少便益：4.3/4.3億円 交通事故減少便益：2.4/2.4億円		
感度分析の結果						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難箇所が解消される。） ・個性ある地域の形成（若狭湾周辺観光地へのアクセス向上） <p style="text-align: right;">他</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
<p>1級町道10号線は、国道27号と国道303号を結ぶ重要な路線であり、市町村合併の支援のためにも必要なことから、若狭町より早期整備の要望（平成18年7月）を受けている。</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
<p>現在までに今回計画を見直した区間までの用地買収は概ね完了しており、工事を残すのみとなっている。</p>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
<p>急峻な地形から工事の進入路が限られているほか、大規模な構造物が必要であった。しかし、大規模構造物が概ね完了したことから、平成22年度には全線供用する予定である。</p>						
施設の構造や工法の変更等						
<p>事業区間の見直しを行い早期事業効果発現を図っている。 建設発生残土を近隣の他公共事業に流用する等コスト縮減を図っている。</p>						
対応方針	計画の見直し事業継続					
対応方針決定の理由	<p>末野側の延長約1.3 kmについては、現況で大型車の通行にも大きな支障もなく、他の区間と比べて改良規模も小さいことから、県の代行事業区間から除き、残りの区間の進捗を図ることにより、事業の効果の早期発現を図る。</p>					
事業概要図	 <p style="text-align: right;">見直し区間延長 L=1,280m</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。